

平成 31 年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

令和元年 6 月 17 日（月） 15：30～ 於：校長室

出席者（敬称略）

（委員）

京都外国語短期大学教授 相川 真佐夫

千里金蘭大学アドミッションセンター顧問 清水 信行

高槻市立第二中学校長 甲斐 淳志郎

社会福祉法人照治会浦堂認定子ども園副園長 濱崎 心子

芥川高等学校PTA会長 宮脇 智幸

（校長・事務局）

校長 門田 浩一 教頭 富山 一紀 事務長 渡邊 総一郎

首席 藤原 啓明 進路指導主事 辻 麻衣子 事務局（記録） 山田 彩容子

【議事】

1. 校長挨拶

2. 委員紹介・出欠確認

3. 会長・会長代行の確認

会長：相川氏

会長代行：清水氏

4. 資料確認

- ・平成 31 年度 第 1 回学校運営協議会 次第
- ・大阪府立芥川高等学校 学校運営協議会 実施要項
訂正 4 頁 附則 1 平成 31 年 → 令和元年
- ・平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価
- ・37 期 進路結果まとめ
- ・38 期生 3 年 4 月 進路希望調査 結果
- ・2019 年度 授業アンケート（一学期実施分）
- ・『学校新聞 芥川』 266 号～268 号

5. 学校運営協議会の運営について

資料 大阪府立芥川高等学校 学校運営協議会 実施要項

- ・第 10 条 委員の過半数以上の出席を確認
- ・第 4 条 保護者からの意見がないことを確認
- ・第 12 条 傍聴希望者がいないことを確認
議事録の公開について 学校ホームページに掲載する事を確認

6. 協議

(2) 平成 31 年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みについて（門田校長より）

資料 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

①資料は平成 30 年度第 3 回学校運営協議会において承認されたものであり、長年の学校経営計画から大きくは変更のないものである。

②「1 めざす学校像」は資料どおり

③「2 中期的目標」について

- ・「1 (1) **学力の向上**」 授業アンケート等を活用しながら、生徒の授業満足度が 2021 年度までに 80%を超えることをめざしたい。
- ・「1 (2) **進路希望の実現**」 現在、進路指導部を中心に進路関係の行事を充実させるなどして、生徒の進路希望の実現に向けて取り組んでいる。2021 年度には生徒の進路指導満足度 90%以上をめざしたい。
- ・「2 (1) **使える英語力の育成**」 各種英語資格の取得に取り組ませている。2021 年度までに実用英語技能検定の合格者を 80 人にすることをめざす。
- ・「2 (2) **国際感覚の育成**」 4 月に台湾の萬芳高級中学校と本校 39 期生との交流を行った。10 月の修学旅行では 39 期生が萬芳高級中学校を訪問する予定である。また夏休みにはオーストラリア語学研修が実施されており、本年度は本校生がミラニ高校を訪問予定である。昨年度はミラニ高校生が本校を訪問しており、毎年交互に行き来している。
- ・「3 (1) **体験学習の充実**」 毎年、浦堂認定こども園に実習でお世話になっている。また、第 2 学年は老人ホームでの実習を実施している。
- ・「3 (2) **学校行事、部活動の振興**」 特に生徒の部活動加入率を 80%以上にすることを目標としており、40 期生の加入率は 82%だった。本日から 3 日間、昼休みに視聴覚室で軽音部がライブを開催しているようである。
- ・「3 (3) **規範意識の醸成**」 遅刻を減らしていきたい。
- ・「3 (4) **人権意識の向上**」 人権担当教員を中心に、研修等を実施している。先日 40 期生では、車いす使用者による講演が行われた。

④質疑応答・ご意見

- ・和太鼓部の活動に期待をしている。授業アンケートについて、校長間での情報共有はあるのか、また教員は授業アンケートをどのように考えているのか、意見を協議会の場でぜひ聞きたい。
→7 月 8 日にアンケートを実施予定なので、次回の協議会で議題にしたい。
- ・修学旅行での子どもたちの様子はどうか。
→当初は食文化の違い等で懸念の声もあったが、現在は好評である。37 期生の行き先が東北地方になったときは生徒や保護者から疑問の声があがった。37 期生のときは修学旅行の台湾人気で例年の時期に予約が取れなかったということと、震災学習も兼ねて東北ということになった。現在は予約を新学年始動前にしている。台湾は親日的で、情勢も比較的安定しているため、楽しいという意見が生徒たちには多い。費用は 10 万円程度である。事前学習は総合的な学習の時間に、中国語の学習をしたり、夏休みに台湾について調べて文化祭で発表をするなどの取り組みをしている。
- ・保育園での実習の生徒の様子を知りたい。
→熱心な生徒もいれば、そうでない生徒もおりさまざまであるが、良い経験になっていると思われる。先日の体育祭では生徒の説明がわかりやすく、園児たちは円滑に競技に参加することができた。多くの人に愛される経験をし、満足して帰っていた。

(3) 進路指導部より（辻進路指導主事より）

①37期生進路結果

資料：37期 進路結果まとめ

- ・全体的に厳しい結果であった。浪人生が昨年度と比べて10人弱増えている。4年制大学の推薦入試で不合格だった生徒が短大や専門学校などに流れた。また私立大学は年々厳しくなっており、生徒の受験回数が、調査方法が適切とはいえないが、昨年度に比べて約1000件増えている。
- ・国公立大学で合格者が2名出た。これはそれぞれ早期の目標設定と努力の成果だと思われる。
- ・受験大学が特定の大学に集中する傾向がある。おそらく大学の知名度に引っぱられたのだろう。大学の名前だけに引っぱられるのではなく、教員や学部などの情報をしっかり収集させて、自分の行きたい大学を選ばせたい。
- ・進路アンケートによると、生徒の満足度は約90%であった。これからも生徒にしっかりアプローチしていきたい。

②38期生進路希望調査結果

資料：38期生3年4月 進路希望調査 結果

- ・ほぼ例年通りの結果となった。

③進路計画について

資料：2019年度 進路指導計画

現状6月までの計画はほぼ実施済みである。

- ・40期生 4月に行ったアセスメントテストにより、生徒が自身の現在の学力がどの程度であるのかを把握した。5月の進路適性検査では性格や能力、向いている職業などを把握した。1年間を通して、自分の置かれている状況を知ることが目標である。
- ・39期生 4月の進路講演会では物事の捉え方などの話をしていただいた。生徒たちは真剣に聴いていた。7月は「サマーチャレンジ」を予定している。オープンキャンパスやインターシップに行き、どういう方向に進むのかを固める時期としたい。3学期を「3年生の0学期」と位置づけて、進路に向けた学習を始める時期としたい。
- ・38期生 4月に進路分野別説明会を行った。進路指導主事は4年制大学の説明を担当した。早めの対策を呼びかけたところ、生徒たちの自習室の利用が増加した。6月は模擬試験を行った。4年制大学、短大を希望する生徒約190名が参加した。試験の結果を受けて夏休みの取り組みを考えてほしい。奨学金や推薦入試の説明会は既に始まっている。

④質疑応答

- ・38期生進路希望調査と比較すると、昨年度37期生の短大希望者が少なかったのはなぜか。また今年度の公務員希望者がいないのはなぜか。
→短大は37期生が少なかつただけで、38期生は例年通りである。今年度の公務員希望者がいないのは、採用が厳しいので現実を見た生徒が多かったと思われる。
- ・3年の担任が初めての初任の教員に対するサポートはどうなっているのか。
→1名は中学校での経験がある。1名は進路指導部員であり、もう1名はよく勉強して熱心である。
- ・生徒の一人あたりの受験回数が増えたということだが、なぜだと考えるか。
→推薦入試で合格できず、一般入試でたくさんの大学を受験した生徒が増えた。受験方法も多様になっている。また私学の定員の厳格化の影響もある。本校はその影響を大きく受けた。受験にかけた費用と合格率は比例しないので、生徒たちへの指導が難しい。

- ・37期生は大学の名前に引っぱられて受験しているとのことだったが。
 - ある大学は本校卒業生が多いので先輩への憧れもあると思われる。また、広報がうまい大学もある。生徒は親世代のプレッシャーによってある程度の知名度のある大学を選ばざるを得なかったり、やはり知っている大学の中で行きたい大学を選ぼうとする傾向にある。また生徒の中にはしたいことはないが、大学生になりたい、合格したいという生徒もいる。多様な学部・学科を設置している大学は、そのような生徒が選びやすいというものもあるだろう。

(1) 4月からの学校の様子（藤原首席より）

資料：「芥川新聞」266号～268号

266号 入学式式辞、教職員の異動、部活動報告

267号 入学式、対面式、新入生歓迎会

268号 37期生進路状況、先輩の話を聞く会（昨年度2月実施）、前期生徒会役員、40期生交通安全講習

その他 6月4日に体育祭が行われた。天候に恵まれ、多くの方にご来場いただいた。

質疑応答

- ・生徒会執行部は女子生徒が多いようだが。
 - 生徒会長は女子生徒であることがほとんどである。生徒会執行部の女子生徒率が高く、したがって執行部スタッフも女子生徒が多いが、男女問わず頑張っている。

☆その他質疑応答

- ・校長はこの学校の良い所についてどのように考えているか。
 - 生徒は素直で、行事などにも熱心に取り組む。挨拶も返してくれる。ただ、もう少し勉強にも頑張ってもらいたい。教員の平均年齢は若干高いが、年齢を問わず熱心に教育活動に取り組んでいる。
- ・芥川高校に通う生徒はどこの中学校から来ているのか。
 - 高槻市内が9割ほどである。茨木方面からも来ている。大阪市内からは学校で1人2人といったところ。地域の学校という印象が強いかもしれない。親世代も高槻育ちの人が多い。
- ・芥川高校は教員と生徒の関係性が良いと感じる。体育祭を見ていて、生徒主体で進められていたように思う。教員が生徒を信頼していないとできないことだろう。学校経営計画にもあったように、グローバルで豊かな人間性をもった生徒を育ててほしい。

(4) 生徒による授業アンケートについて

資料：2019年度 授業アンケート（一学期実施分）

年間2回実施予定。1回めは7月8日に行う。2回めは11月頃になる予定。内容は昨年度から変わっていない。

(5) 保護者からの意見書について

特になし

(6) その他

- ・教科書選定について 現在作業中である。校内締め切りまではあと一週間ほど。7月中旬に教育庁に提出予定。この件については第2回学校運営協議会にて報告する。

(注) (2) (3) と (1) が入れ替わっているのは、首席が授業中で途中からの出席であったため。

7. 連絡

- ・ 次回予定 11月中旬に開催予定
- ・ 議事録の公開について 5で実施要項について確認したとおりである。